

平成26年度事業報告

I 概要

平成26年度もシルバー事業を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続きましたが、「会員確保」や「就業機会の確保」を重要課題として取り組んでまいりました。

このような中、事業目標を会員数900人、契約金額300,000千円、就業率95%として事業を推進しました。

II 事業報告

1. 会員の増強

会員募集については、市広報誌へ掲載、チラシの配布などのさまざまな機会をとらえて募集を行いました。また、今年度は新たに地域人づくり推進員によりハローワークとの連携のもと、巡回相談に参加するなど会員の獲得に努めました。

平成26年度末の登録会員数は870名で、前年度末に比べて13名増え、合併後初めて増加となりました。

(1) 地域別会員数

(人)

地域	性別	区 分		計
		男 性	女 性	
高 山		315(10)	127(1)	442(11)
国 府		57	39	96
丹生川		29	9(1)	38(1)
清 見		35	9	44
荘 川		25	13	38
一之宮		21(1)	12	33(1)
久々野		52(2)	14	66(2)
朝 日		34	20	54
高 根		10	8	18
上 宝		18	23(1)	41(1)
緊急雇用		0	0	0
合 計		596(13)	274(3)	870(16)

() 内は、特別会員数である

(2) 年齢別会員数

(人)

年齢別	性別	区 分		計	構成比
		男 性	女 性		
60歳未満		0	0	0	0%
60～64		25	22	47	6%
65～69		127	69	196	23%
70～74		194	104	298	35%
75～79		166	50	216	25%
80歳以上		84	29	95	11%
合 計		596	274	870	100%

※1 平均年齢73.5歳（男性73.9歳、女性72.5歳）

※2 最高齢 男性89歳、女性88歳

2. 事業の実績

厳しい事業環境の中での活動となりましたが、公共団体、民間企業、一般家庭等の皆様から多くの就業機会をいただきました。

契約金額は256,686,393千円で残念ながら対前年比1%（2,746千円）の減となりました。

(1) 事業実績

区 分	実 績	備 考
受注件数	5,534件	
就業実人員 ①	780人	
就業延人員 ②	82,660人日	
就業率	91.3%	① / 正会員数
受注金額	256,686,393円	対前年比99%
内 配分金 ③	228,542,826円	
1人当たり配分金	2,765円	③ / ②
実働会員1人当り配分金	293,004円	③ / ①
実働会員月間就業日数	8.8日	② / ① / 月数

(2) 公共・民間等別事業実績

金額 区分	契 約 金 額		前年比
	26年度	25年度	
公共事業	72,908,337円	73,352,384円	94%
一般企業	149,679,127円	152,575,348円	99%
個人・家庭	33,252,587円	32,190,935円	96%
独自事業	846,342円	1,313,877円	182%
合 計	256,686,393円	259,432,544円	99%

(3) シルバー派遣事業実績(県シ連高山市事務所)

請負(委託)契約では受注できない仕事をシルバー派遣で実施しました。受注件数は15件、契約金額は10,969千円、登録会員は57名、派遣就業延人員は2,609人日で、前年度比123%と増加になりました。今後も適正就業及び多様化する働く場の確保のため、派遣事業については発注者の理解を得て増強できるように努めます。

3. 総会、理事会及び各委員会等の活動状況

- (1) 定時総会 (5/27) 高山市民文化会館
 来賓 5 名、
 出席会員 124 名、委任状等 496 名、 計 620 名
 平成 25 年度事業報告及び収支決算報告、理事 17 名の選任、監事 2 名の選任、理事長に対する権限委任
 平成 25 年度補正予算・平成 26 年度事業計画・収支予算・平成 25 年度事故の報告
- (2) 理事会
- ① 第 1 回理事会 (4/30)
 会員の承認、平成 25 年度事業報告及び収支決算報告、理事 17 名の選任、監事 2 名の選任、被表彰者の承認、理事長に対する権限委任
- ② 第 2 回理事会 (5/27)
 理事長、副理事長 2 名、常務理事の選出
- ③ 第 3 回理事会 (9/10)
 会員の承認、平成 26 年度事業計画の変更及び収支補正予算(第 1 号)
- ④ 第 4 回理事会 (12/24)
 会員の承認、平成 26 年度上半期事業・収支報告、平成 26 年度事業計画の変更及び収支補正予算(第 2 号)、理事長に対する権限委任
- ⑤ 第 5 回理事会 (3/24)
 会員の承認、平成 26 年度事業計画の変更及び収支補正予算(第 3 号)
 平成 27 年度事業計画及び収支予算、平成 27 年度定時総会の開催、理事長に対する権限委任
- ⑥ 書面による決議
 会員の承認 8 件
- (3) 企画委員会 (3/20)
 平成 27 年度事業計画及び収支予算、平成 27 年度定時総会の開催、センターの補助金、高齢者活用現役世代雇用サポート事業について協議
- (4) 就業委員会
- ① 新入会員就業説明会の実施 (4.5.6.3.月は毎月第 1.3 水曜日)

開催月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
受講者数 (人)	30	10	10	5	6	7	9	24	7	9	7	16	140

- ② 第 1 回就業委員会 (7/31)
 年間活動計画の確認
 就業説明会研修実施要領研修の確認
- ③ 第 2 回就業委員会 (2/18)
 苦情処理状況の確認、新規事業検討について
- ④ シルバー農園部会総会 (3/27)
 平成 26 年度事業・収支決算、平成 27 年度事業計画・収支予算
- (5) 安全委員会
- ① 第 1 回安全委員会 (7/31)
 委員会所管事項、年間活動計画の確認

- ② 各地区の安全就業パトロールの実施(7、8月)
- ③ 交通安全講習会の開催(2/7)

(6) 広報委員会

- ① 第1回広報委員会(4/25)
委員会所管事項、年間活動計画の検討、会報第46号発行
- ② 第2回広報委員会(7/31・8/28) 「こだま」第47号発行検討
- ③ 第3回広報委員会(9/12.25.26.10/27.28) 「こだま」第47号編集
- ④ 第4回広報委員会(3/2.3/23) 「こだま」第47号校正

(7) 監査

- ① 平成25年度下半期及び決算監査(4/24) 事業・収支状況
- ② 平成26年度上半期監査(10/31) 事業・会計執行状況

4. 研修、講習会等の開催状況

- (1) 講演会(5/27) 高山市民文化会館(定時総会後)
「高齢者の健康」
- (2) 交通安全講習会(2/7) ひだホテルプラザ 会員166名
- (3) シニアワークプログラム(S.P)講習会

6/16	パソコンビジネス(～7/4) 8日間	世界生活文化センター	受講者20名
9/10	調理補助 (～9/26) 8日間	高山市民文化会館	受講者15名

5. 就業分野の開拓・拡大

発注先の事業所等を訪問、また公共事業の発注についても、市長及び市各部署、各支所責任者にシルバー事業への理解と協力をお願いしました。また、地域人づくり推進員により、商工会議所等の関係機関にも協力をお願いしました。

6. 安全就業の徹底

新入会員へ安全就業についての周知、安全委員会委員による就業場所の安全巡回、会員の就業依頼時に直接安全確認、交通安全講習の開催等の安全意識の啓発等を行いました。

事故発生件数は、本人傷害事故5件(前年1件)、対人事故0件(前年0件)、対物事故が2件(前年2件)発生しました。平成26年度は、転倒による事故が多く、今後も、あらゆる機会をとらえて、会員の安全意識の高揚と徹底を図ります。

7. 適正就業の推進

就業の基本である臨時的・短期的な形態で適正就業が行われているかを検証し、法令遵守の徹底による適正就業に努めました。

8. 独自事業の実施

- (1) おさらい教室
小学1年生から6年生の生徒16名を指導者2名で、毎週2回(水、

金)午後5時から7時まで学習指導を行ないました。

(2) 観光ガイド

おもてなしの心をもって、観光ガイドを実施しました。現在ガイド人数は24名で、平成26年度は日本人283件、外国人件の受注がありました。

(3) シルバー農園

平成26年度は、長雨の影響もあり昨年度の収穫130ケースより大幅に減り50ケースの出荷となりました。

9. 地域人づくり事業

9月より地域人づくり推進員1名を雇用し、事業所訪問などにより新たな就業領域の拡大とハローワークとの連携により、地域巡回相談に参加するなど新規会員獲得に努めました。

10. 指定管理施設の運営事業

指定管理者として受託している4施設（高山市丹生川・久々野・国府老人いこいの家、国府町木曾垣内地区体育施設）の管理・運営を実施しました。また、地域の高齢者を対象に健康体操講習会を行いました。

各施設の利用状況は下記のとおりです。

国府老人いこいの家	4,484人
丹生川老人いこいの家	734人
久々野老人いこいの家	2,707人
国府町木曾垣内地区体育施設	15,210人

高齢者の趣味の講座（庭木の剪定雪囲い講習会）

10/28	久々野地域	受講者15名
10/30	丹生川地域	受講者14名
11/6	国府地域	受講者14名
11/10	高山地域	受講者32名

11. 普及啓発事業

公益社団法人としてホームページを更新し、センター事業や運営内容を掲載し、情報を公開しました。

また、会報「こだま」の発行（2回）、シルバーチラシの配布、市主催の就職面談会に参加し、シルバー事業の啓発、高齢者の就業相談事業を行いました。

12. ボランティア活動

(1) 剪定班により福祉センター敷地内の植栽の剪定などを行いました。

(2) 手筒花火大会後の会場周辺の清掃を互助会と協力して実施しました。

13. センターの健全経営について

センターの経営は、契約事業の落ち込みとともに国の補助金の削減も加わり、依然として厳しい状況となりました。このような中、平成26年度は、岐阜労働局による定期指導を受けるなど適正化及び法令の遵守に努めました。今後も公益社団法人として、組織・財政面での運営の適正化を図ってまいります。